

第9期 (2020.10~2021.9) 活動報告

1/18 (月) KIRC社員新年会 開催報告 《特集号》

【KIRC新年会】

期 日 令和 3年 1月 18日(月) 10:00 ~ 12:10

場 所 オンラインzoom会議(岩崎理事のパーソナルミーティングルーム)

司会進行 小川

ZOOMホスト:岩崎理事

参加者 海外ゲスト3名、国内ゲスト3名、理事・会員10名

■はじめに:Zoomについてのご注意

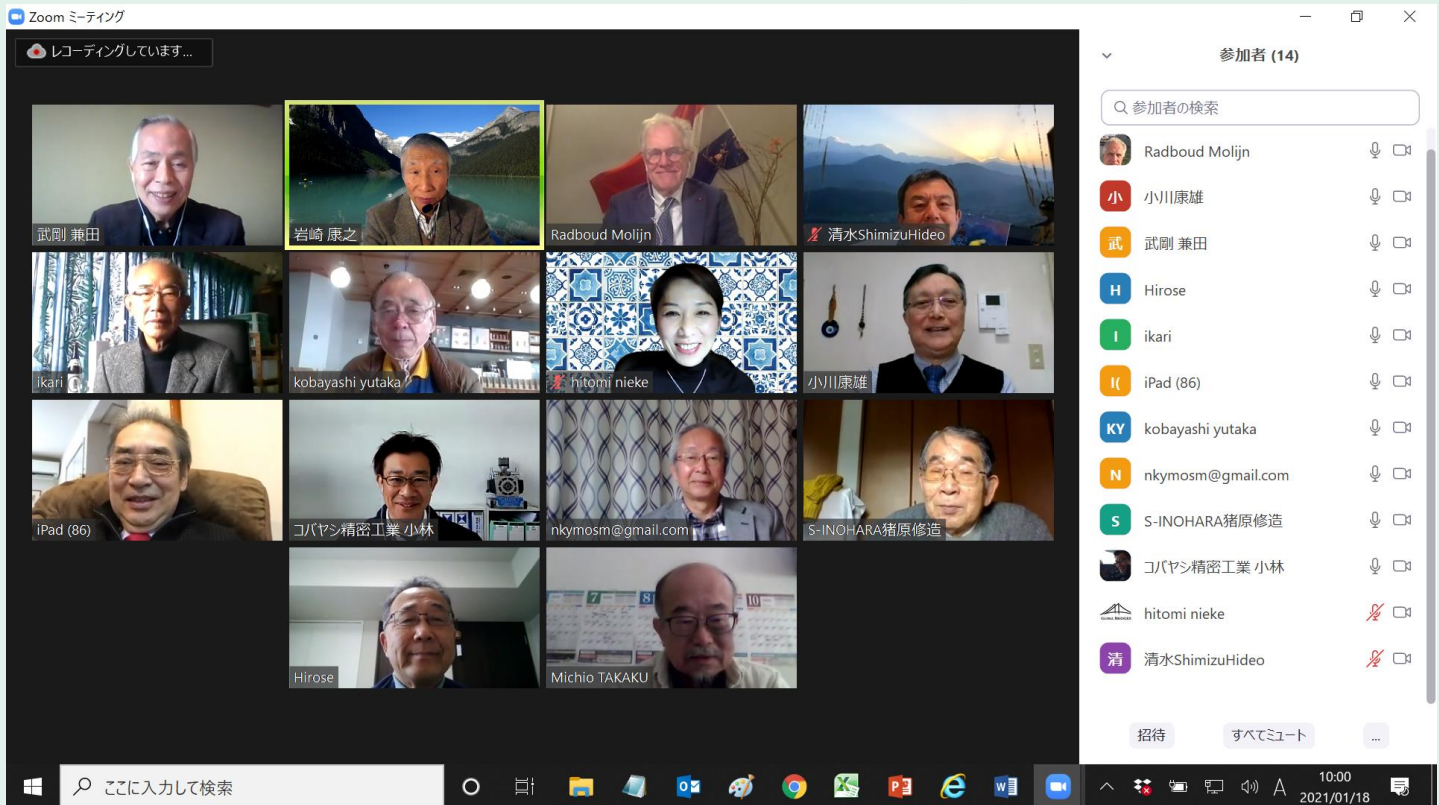
岩崎理事より

1部 新年ミニプレゼン(10:00~)

■新年に当たってのご挨拶

猪狩 理事長より

例年は会場にて新年会が、本年はzoomによるリモート開催となりました。またオランダ・タイからの参加も頂きました。寂聴・メルケルからも危機的な状況とのコメントもあります。本新年会開催の機会を「新たなる可能性を試みる場」としたいと思っています。



■新年に当たって、ミニプレゼンをいただきました。(内容の抜粋)

① 神奈川ニュービジネス協議会 アドバイザー 高久 道男氏 (10分)

テーマ: コロナ禍、KIRCに期待すること

講演内容: コロナ感染者は33万人までになり、死者4,500名。実母が骨折で入院中に、逝去しました(面会が出来ない状況もあり病院の対応も後手に回っていた) 合掌 政府の学校の閉鎖もミスであろうと判断している。KIRCのメンバーの方に霞が関の実力も停滞気味。この緊急事態打破のために、キャリアを駆使した活動で社会貢献を目指して欲しい。「Withコロナ」というよりも「Beyond コロナ」を提唱したい。

温暖化対策についても提言もしてきたが、進行していない。KIRCのメンバーの方々のキャリアを生かして、この状況への支援をして欲しい。

② 株式会社コバヤシ精密工業 代表取締役

小林 昌純氏 (20分)

テーマ: 製造業の底力

講演内容: ○会社紹介、コロナ禍での半導体関連の米中貿易戦争が起きている中で、5Gの今後の展開に注目。テレワークの浸透で出張に必要な機材(航空機・新幹線etc)が不要になった。産業の存在意義についても考えさせられる。

○航空機産業は2023年までは回復不能と理解。脱酸素社会・リチウムイオンバッテリー・洋上風力発電など、製造業に求められる変化・淘汰されないための事業を目指したい。コバヤシ精密工業の2021年のチャレンジ(多市場向け)についてのお話もご披露頂きました。製造業の到達点製造業とIT企業の垣根を超える。工場見学も受け入れていきますので、ご遠慮なく。

③ グローバルブリッジズ (オランダ・アムステルダム)

(20分)

モライン氏・にえけひとみ

テーマ: オランダと神奈川の企業を繋ぐ(含むアムステルダム風景画像)

○講演内容: 会社紹介; 30年前に設立し現地の市場調査・進出総合サポート・コンサルティング事業を展開している。クライアント企業の紹介など具体的な内容について解説。

○【モライン氏】のお話し: by日本語 (アジェンダ1)

40年前私が初めて日本を訪問したのは船旅での横浜港でした。港町がカラフルでこの地に好印象を持ち、神奈川県で革新的で技術開発に特化した活動は、オランダも同様な技術指向がありお互いの中小企業の関連づくりと架け橋になればと思っております。オランダも技術大学が多く、これを機にオランダと日本の中手企業の架け橋(Global Bridge)になりたいと考えています。

○【にえけひとみ氏】のお話し (アジェンダ2)

オランダの「就労スタイル」年間労働時間が世界的に一番少ない。(週3日勤務は常識)

働き方改革では北欧国が進んでいる。1982年のワセナー合意により歴史的改革が成立。

週3勤務の女性の働き方は常識レベル。欧州のコロナウイルスへの給付措置。オランダへの日本人・企業の進出状況。九州と同じ広さでフラットな地形。ビジネスソリューションの紹介。多岐に亘る資料・データをご披露頂き興味深いお話しでした。

2部 Zoom賀詞交歓 (11:10~)

新年を寿ぎ、渡邊副委員長の音頭で、【リモート乾杯】で秋田の銘酒である「高清水」を賞味しました。現社長は渡邊副理事長の同級生です。IWCでゴールドメダルを受賞しました。
※オランダ・タイにお届けできなかったことをご容赦ください。

KIRC 第49号 続き

【3分間スピーチ】:参加者からの近況・新年への抱負などのご披露。

- 兼田 武剛氏:日本ドットコムを起こしに20年になります。3月に解散することにしました。実父の業績についてご披露:起業が得意技で、介護施設内で経営コンサルタントを継続し、101歳で天寿を全うしました。合掌
 - 小林 豊氏(海外特別会員):タイに永住中。コロナは「自然現象」と理解している。作家活動を継続中。皆様にも是非お読みいただきたい。
 - 高橋幸夫氏(高橋特許事務所代表):最近では体調不良の健康管理で苦労しています。薬の服用で対応。健康管理には、家族の協力が必要。
 - 石川副理事長:70歳から横浜市で夜間中学で教諭を継続中でしたが、今年で止めようと思っています。昨年末、アメリカ在住の実母が100歳で逝去。合掌オランダはドイツ駐在の時に出張で度々訪問していた。
 - 猪原修造理事:毎日、朝1時間の散歩をしています。小学生の交差点横断の見回り活動をしています。町内会の地域活動に携わっています。
 - 岩崎康之理事:2020年を振り返って・・・現金授受からカード・スイカ・スマホ決済に切り替え。毎日6000歩目標の運動。2021年目標・・・ふるさと納税は継続中。
 - 清水英夫理事:【日経ビッグデータ本格化】診療記録を匿名で共有・活用→コロナ対策にも期待できる。医療時のビッグデータ(カルテ)を匿名化。
 - 日野順三理事:タイムアップのため退室。
(進行係の不手際・失念で時間を取れず陳謝します)
 - 中山 修 理事:毎朝ラジオ体操→散歩1時間。実母が高齢で施設に入居中・・・zoomでオンライン面会を実施(感謝)zoom同窓会も開催(顔を見ての交流)
 - 小川康雄理事:《広がる個人M&A》について情報提供(テレビ東京:モーター放映)企業vs企業 → 個人vs企業の紹介。就業者が副業でM&Aが出来る。
 - 廣瀬一郎(会員):(参加していただいたのに、進行係の不手際でご指名を失念してました。事前に入手していました原稿の内容を掲載させていただきます。
:心より陳謝します)
1. アイオア州の支援8年目となり、Spiber社※(山形市在)がアイオア州への進出決定。
※世界初の合成クモ糸繊維「QMONOS」の量産化に成功したことで有名な繊維企業
 2. 7月から中小企業基盤整備機構で国際交流プロジェクト推進に携る(週2日)
 3. 9月に入院し、現在定期検査を受けながら自制生活継続中です。
心安らぐひと時は、孫の遊び相手をしているときです。

猪狩理事長より: オランダ、タイの海外からのご参加及び、高久様・小林様のご講演を賜わり非常にバラエティに富んだ新年会となりました。
KIRCの構成世代はコロナに感染しない・迷惑を掛けないをモットーに、これからも過ごしていただきたいと思います。

締めのご挨拶:石川副理事長より

コロナ禍の中、お体を大切にお過ごし頂く様にお願いします。

【編集者 小川 康雄】